

オーストラリア金融政策（2019年9月）

2カ月連続の据え置き

2019年9月3日

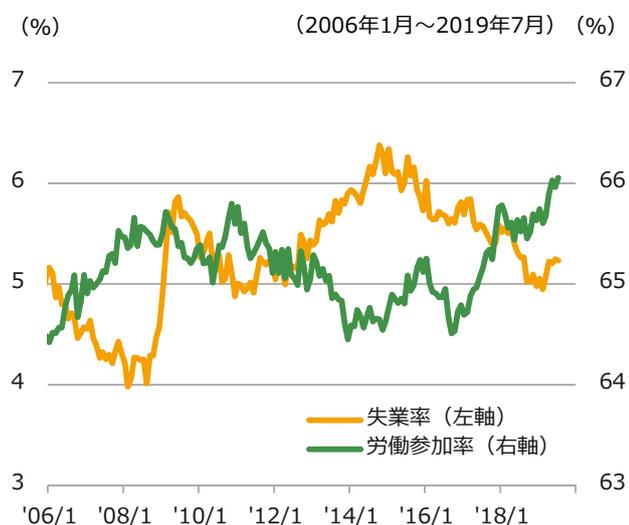
低金利の長期化観測

2019年9月3日（現地）、RBA（オーストラリア準備銀行）は市場予想通り政策金利を1%に据え置くことを決定しました。RBAは6月と7月に連続で利下げを実施した後、8月は据え置いていました。

声明文の内容は8月とほぼ同じです。通商政策の不透明感に伴う世界経済の下振れリスクが、低インフレと相まって各国に金融緩和を促す中、豪州経済は低金利、減税、インフラ（社会基盤）投資、住宅市場の安定、資源部門の好調に支えられ、今後数年かけて徐々に経済成長率が回復するとの見通しを示しています。

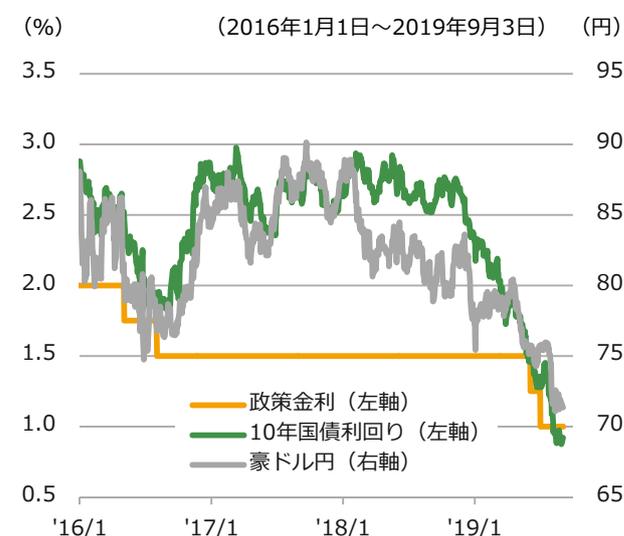
二大経済大国である米中の景気の弱含みを受けて、市場はRBAの年内の追加利下げをほぼ織り込んでいます。RBAが明記する通り、金融政策の鍵を握るのは国内要因では労働市場です。雇用者数は安定的に増加し、労働参加率も過去最高に達するなど、雇用情勢は必ずしも悪くありませんが、失業率が低下基調に戻らない限り、低金利が長期化しそうです。もっとも、より政策判断に影響を及ぼすのは、世界の金融市場です。不測の通貨高を避けるためにRBAも世界的な金融緩和の潮流に追随せざるを得ず、金利の上昇余地は当面限られそうです。また、リスク回避の環境が強まる局面では、豪ドルに下押し圧力がかかるとみられますが、逆に、米中の歩み寄りが見られれば、その程度に応じて豪ドルの反発が期待されます。

オーストラリアの失業率と労働参加率



(出所) オーストラリア統計局

オーストラリアの金利と為替



※政策金利は決定日ベース
 ※10年国債利回りと豪ドル円は9月2日までのデータ

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。